

職100%

課程追加

といい、「受講当初は言葉遣いも社会人というよりは学生に近い人も目立つ」（センタ担当）という。

本年度からは、国がつくつ

人材確保へ魅力強調 建設業限定で初の説明会

人手不足に悩む建設業への就職を促そうと、山梨労働局は17日、ベルクラシック甲府で建設業に特化した初の合同企業説明会を開いた。「厳しいというイメージで敬遠されがち」という建設業のやりがいなどについて、企業担当者が高校生らに伝えた。

た橋渡し訓練のカリキュラムを全国統一で実施。これまでは個別のテーマで半日ずつ行っていたが、六つのテーマに分けて1テーマ3日間に変更。相手の心情に配慮し、自分の意見を筋道を立てて説明するようなコミュニケーションの指導を充実させ、チームを取り組む内容も増やした。

本年度は、新たなカリキュラムを9月と来年3月からの受講生を対象に実施する。

「社員は65人ほどいるが20代は2人しかいない」。型枠や鉄筋工事などを請け負う釜谷工務店（甲斐市竜地）の川向仁司工務部長は、若手の確保を目指して説明会に参加した。「仕事は選べるぐらいあるが、求人を出しても人が集まらない。人手不足だけな



く、技術の継承ができないことも問題だ」と明かした。説明会には県内の建設業者16社が参加し、各社がブースを設置。企業担当者は集まった高校生ら約160人に業務内容などを説明した。

説明会前にはセミナーを開き、高校生に建設業の魅力やPR。企業側の代表者は「厳しいイメージがあると思うが、雇用環境は改善している。

建設業の人手不足解消を目指して開いた合同企業説明会。ベルクラシック甲府

~~~~~  
工事が完成した際には達成感を得られ、やりがいはい大きい」などと訴えた。

政府の経済対策で公共工事が増えている一方、建設業を目指す人は減少している。参加した笛吹市内の高校3年男子

（18）は「厳しい職場という印象が強いが、仕事が増えているなど魅力を感じる話も聞いた。参考になった」と話していた。

〈三井将也〉

## ロシア経済情勢 市場動向を解説

9月に甲府でセミナー  
甲府商工会議所などは9月3日、ロシアの経済情勢や市